

取付取扱説明書 A-1

ステンレス表札

この度は、当社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 末永くご愛用いただくために、この取付取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。
 この取付取扱説明書は大切に保管してください。

取扱上のご注意 ※必ずお守りください。

- 取付作業は、施工業者等のプロにお任せすることをお勧めします。
- この商品は無理な荷重・衝撃・落下により破損する可能性がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 金属の切断面には充分ご注意ください。安全に配慮した処理を施しておりますが、ケガをする場合があります。取り付けをする際は保護用手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- 塗装部分に関しては、金属に焼付塗装を施しております。摩擦や引っ掻き等により塗装部分が傷つくことがありますので、取り扱いにはご注意ください。環境条件によっては、塗装部分に変色・シミ・錆等が生じることがあります。
- ステンレスは錆に強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありません。特に塩害環境に厳しい地域では錆びやすくなりますので、取付環境には充分ご注意ください。
- 分解・改造・用途以外の使用は絶対にしないでください。ケガ・事故の原因となります。
- 商品に傷をつけないようご注意ください。お客様が施工中に破損された場合は、商品の取り替え等の措置は出来かねますので、ご了承ください。
- 取付面の凸凹が大きい場合は、平らに補正してください。凹凸が大きいと落下の原因となります。
- この商品は壁面より手前に突き出ますので、お子様がぶつかる危険の無いようご注意ください。
- 隙間に手や指を入れないよう、ご注意ください。
- 商品に寄り掛かったり、ぶら下がったり、過度の荷重をかけないでください。ケガ・事故の原因となります。
- 火気を近づけないでください。変色・塗装剥がれの原因となります。
- 各部のネジのゆるみがないか確認してください。
- 取付完了後、商品が確実に固定されていることをご確認ください。
- 商品を廃棄される場合はお住まいの地域の取り決めに基づいた処理をお願いします。

施工される前に ※ご確認ください。

付属品



準備するもの

※ご使用になる際は、壁面に適したものをお選びください。



施工方法

<p>1</p> <p>寸切りボルト</p> <p>付属の寸切りボルトを表札裏面のネジ穴にねじ込んで取り付けます。ゆるみがないようご注意ください。</p>	<p>2</p> <p>マークする</p> <p>壁</p> <p>壁面の汚れや付着物を落とし、取付場所に表札が傾かないよう水平にあてがいます。ボルト位置をペン等で壁面にマークします。</p>	<p>3</p> <p>壁</p> <p>4.5 ~ 5mm</p> <p>25mm 以上</p> <p>マーク位置にドリルで垂直に穴をあけます。表札を壁から浮かしたい距離になるよう調整しながら穴をあけてください。(直径 4.5 ~ 5mm、深さ 25mm以上) 穴の中のゴミは充分に取り除きます。</p>
<p>4</p> <p>壁</p> <p>接着剤</p> <p>壁面の穴に接着剤を注入し、表札のボルトを差し込みます。</p> <p>⚠ 接着剤は別途ご購入ください。使用方法は、接着剤の説明書をよくお読みください。</p>	<p>5</p> <p>養生テープ等</p> <p>保護</p> <p>表札の表面を保護してから、養生テープ等で固定します。接着剤が完全に硬化したら、テープを剥がします。</p> <p>⚠ 塗装部分に直接テープを貼らないでください。塗装剥がれの原因となります。</p>	

⚠ 裏面に続きがありますのでご覧ください。

お手入れ方法

- 付着した汚れは、柔らかい布で水拭きをした後、柔らかい乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。拭き取る際は、キズがつかないようにご注意ください。ヘアラインの場合は、目に沿って拭くようにしてください。
- 汚れが目立つ際は、水で薄めた中性洗剤で拭き、十分に水拭きを行なってください。
- ゴミなどの付着物を放置すると錆発生の原因となりますので、定期的に水で洗い流す事をおすすめします。
- 海水などの塩分を含んだものが付着した際は、水で洗い流し、十分に拭き取ってください。



注意

- ステンレスは錆に強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありません。特に塩害環境に厳しい地域では錆びやすくなります。ご了承ください。また、鉄粉など表面に付着したまま放置すると錆が発生しますので、必ず拭き取るようにしてください。
- ステンレスの切断面は、安全に配慮し処理を施していますが、ケガをする場合がありますので素手で触れない様、充分ご注意ください。
- お手入れの際、研磨剤入りのクレンザー等は、本体表面に傷をつける恐れがあるため使用しないでください。
- シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等は塗装を剥がす恐れがあるため使用しないでください。
- 殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。